

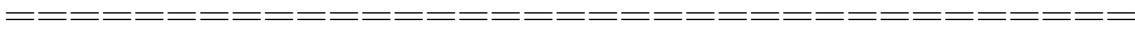


電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG)  
ニューズレター (2019 年度 No.1)  
<http://www.hcg-ieice.org/archives/newsletters/>



～ 目次 ～

- ◆ 2019 年度運営委員長からのご挨拶
- ◆ FIT2019 (第 18 回情報科学フォーラム) 開催のご案内
- ◆ HCG シンポジウム 2019 への投稿のご案内
- ◆ コミック工学研究会 (CC 研究会) 発足



2019 年度運営委員長からのご挨拶

委員長  
苗村健 (東大)

2019 年度ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) 運営委員長を仰せつかりました東京大学の苗村健です。もともとは、画像通信の先の未来として、空間を共有するような通信システムを夢見て、カメラを多数並べた通信システムの研究をしていました。これが、カメラに写った空間を理解する AI の研究と、その空間をリアルに提示する VR の研究へと繋がっていきました。最近では、AI で適度に支援しながら人々に創発的な議論を促すことを目標に、複数人での場の共有を可能にする VR 技術の研究などに取り組んでいます。あらためて考えてみると、人々への動機付けや対話の促進などのヒューマンコミュニケーションの視点が、今後のメディア技術の進むべき方向を指し示していることを実感します。HCG は、まさにそのような未来を担う場であり、運営委員長として微力ながら貢献できることに、たいへん光栄かつ嬉しく思っています。

私は現在、東京大学の情報学環・学際情報学府という組織に属しています。ここは、東大中のさまざまな分野から教員が集い、環をなすことで、学際的な研究領域を創出していこうという志を持った場です。私自身は、情報理工学系研究科電子情報学専攻に本籍を置きながら、学内留学のような気分での環の中に混ぜてもらっています。ここに居て感じるのは、「学際とは手段であって目的ではない」という側面と、「予定調和でない偶発的なイノベーションに学際が欠かせない」という側面のバランスの難しさです。混ぜることを目的化してしまうとどこに向かっているのか見失いがちというリスクがある一方で、混ぜてみないと分からないところに抗し難い魅力があるのも事実です。国内外の多様な人材が集う HCG には、目的に沿った学際の実践と、学際によって生み出されるイノベーションの両輪を期待しています。

このため、運営委員長として今年度は 3 つの活動を進めることを考えています。1 つ目は、HCG 内での連携です。さまざまな学術分野の文化が交錯する HCG においては、相互理解を深めることが肝要であり、HCG シンポジウムでの企画などを通じて実りある交流の場を提供していきたいと考えています。2 つ目は、HCG 研究基盤の整備です。2016 年度に設置された常設編集委員会の活動を推進し、他では分野外であると弾かれてしまうようなイノベティブな研究の抛り所となればと考えています。3 つ目は、信学会本体への貢献です。近年、学会の存在意義の議論や、学術分野への経済原理介入の是非などに頭を抱えることが多くなってきました。時代の変化にしなやかに対応しつつも、「これは面白

い」と訴えられる HCG の魅力を発信することが、信学会全体の魅力向上へと繋がると信じています。

皆さまにとって、なくてはならない HCG であり続けるために、運営委員会のメンバーと協力して活動を行っていきます。ご協力の程よろしくお願い致します。

=====

FIT2019（第 18 回情報科学技術フォーラム）開催のご案内

企画幹事  
蔵田武志（産総研）

-----

電子情報通信学会（ヒューマンコミュニケーショングループ、情報・システムソサイエティ（ISS））、情報処理学会（IPSJ）、および HCG が共催する、FIT2019（第 18 回情報科学技術フォーラム）の開催をお知らせいたします。

- ・会場：岡山大学 津島キャンパス（岡山県岡山市北区津島中 1-1-1）
- ・会期：2019 年 9 月 3 日（火）～5 日（木）

本フォーラムは、IPSJ 全国大会と ISS ソサイエティ大会との流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流などを実現することで、2002 年から毎年継続して開催しております。今年度は、「トップカンファレンスセッション」が新設されました。各分野でのトップレベルの国際会議・学術雑誌に最近数年以内に採録された論文の著者にその内容を紹介して頂く特別なセッションで、3 日間計 37 件の発表が行われる予定です。9 月 4 日（水）に開催される「IT 情報系キャリア研究セッション」もユニークなセッションです。IT 情報系の分野ごとに分かれて各企業ブースを設けます。コンピュータ科学領域、情報システム領域、ソフトウェアエンジニアリング領域、コンピュータエンジニアリング領域、インフォメーションテクノロジー領域などを代表する企業の社会人と直接対話ができます。情報技術分野における顕著な業績に対して贈られる FIT2019 船井業績賞を受賞される後藤 真孝氏（国立研究開発法人 産業技術総合研究所 首席研究員）の受賞記念講演も 9 月 4 日（水）に予定されています。

また、以下のような情報科学技術に関する様々なテーマの学会・研究会企画によるイベントが開催されますので、是非ご参加下さい。

**【9 月 3 日（火）】**

- ・コンペの覇者
- ・音波通信技術とその応用
- ・グラフアルゴリズムの新潮流：組合せ遷移とその応用
- ・若手研究者が描く未来予想図
- ・ゲーミフィケーションが拓くサイバーワールドの可能性
- ・人工知能に関する国際標準化活動へのお誘い
- ・高度 IT 人材を育成する産学協働の実践教育ネットワーク enPiT
- ・トップカンファレンスセッション
- ・[無料公開]市民公開講座：農業と ICT

**【9 月 4 日（水）】**

- ・[無料]特別講演「社会全体のデジタル化とその先の日本」平井卓也（IT 政策担当国務大臣）
- ・[無料]特別講演「岡山におけるデジタル社会の展開」松田久（岡山商工会議

所会頭)

- ・ [無料]FIT2019 船井業績賞受賞記念講演「音楽情報処理が切り拓く音楽体験の未来：コンテンツの自動解析が価値を生む」後藤真孝（産業技術総合研究所 首席研究員）
- ・ 医療・健康のためのコンピュータビジョン／パターン認識(CV/PR)技術（PRMU/MI/CVIM 連催研究会）
- ・ インダストリアルセッション：OSSハッキングのための法律相談
- ・ 量子コンピュータ技術基盤の創出に向けて
- ・ 医療と自然言語処理のこれから
- ・ 働き方改革と IT - デジタルプラクティスライブ

【9月5日(木)】

- ・ 人や物を運ぶ ICT
- ・ 情報教育はどう変わるのか?新しい時代に求められる能力とは
- ・ 情報セキュリティのやり方：実践編
- ・ ソーシャルビッグデータの処理と応用
- ・ トップカンファレンスセッション

最新情報につきましては下記をご覧ください。

<https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2019/>

=====

HCG シンポジウム 2019 への投稿のご案内

企画幹事  
青木良輔 (NTT 研)

-----

【HCG シンポジウム 2019 開催のご案内】

電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) は、下記の通り HCG シンポジウム 2019 を開催します。

HCG シンポジウムは今年度で 15 回目を迎えます。シンポジウムの特徴として、工学分野に加え、ヒューマンコミュニケーションに関係が深い心理学、デザイン学、生理学の分野に精通する関係者も集め、活発な議論の場を提供しております。さらに、このシンポジウムの大きな特徴は、すべての口頭発表者がインタラクティブセッション（ポスタ・デモ）でも発表できることです。時間の限られた口頭発表では参加者と十分な議論ができません。そこで別の時間帯のインタラクティブセッション（ポスタ・デモ）会場に、すべての口頭発表者のブースを用意します。装置などを持ち込んだデモも可能です。奮ってご投稿、ご参加ください。

今後の情報は HP にて適宜連絡をしていきます。

<https://www.hcg-ieice.org/hcg-symposium/2019/>

【開催案内】

会場：広島県情報プラザ（広島市中区）  
会期：2019 年 12 月 11 日（水）～ 2019 年 12 月 13 日（金）  
発表申込開始：8 月上旬（予定）  
発表申込締切：9 月 17 日 23:59(火)  
発表原稿締切：10 月 21 日 23:59(月)  
プログラム公開（タイトルのみ）：10 月中旬（予定）  
予稿集公知：12 月 4 日（HP と予稿集に掲載予定）

【副題】

時空を超えて思いを伝えるコミュニケーション技術

今回の開催地である広島は、核の経験をふまえ、それを二度と繰り返さない平和な世界を実現するというメッセージを全世界、未来に向けて発信しています。この副題には、そのようなメッセージを伝えるため、コミュニケーション技術をどのように発展させ、使っていくか考えることが必要だ、という意味が込められています。

【招待】

チュートリアル講演（12/11）：中尾敬（広島大学大学院教育学研究科）  
招待講演（12/12）：渡邊英徳（東京大学大学院情報学環・学際情報学府）  
その他、研究専門委員会が企画する招待講演やパネル議論の場も用意する予定です。

【懇親会会場】

会場：ヒロシマコンベンションホール  
日時：12月12日20時～  
最寄駅：広島駅

=====

コミック工学研究会（CC研）発足

CC 運営委員長  
相澤清晴（東大）

-----

コミック工学研究会（Comic Computing TC, CC研）が、2019年4月に発足しました。HCGの第2種研究会のもっとも新しい研究会で、漫画・コミック全般をターゲットにしています。

いうまでもなく、漫画は、日本の伝統的な文化であり、世界をリードするコンテンツです。漫画はアートワークであり、そのページには、時系列を意識してレイアウトされたシーンが描かれ、そこには線画とテキストのマルチモーダルな情報が詰まっている。極めて高度に多くが凝縮されたマルチメディア情報です。それにもかかわらず、書籍であったからか、情報技術の研究対象として十分に扱われてきませんでした。漫画を対象とした情報研究は散発的なものでした。ところが、近年、潜在していた多くの研究が急速に顕在化してきました。その顕在化したコミュニティを支援するために、この研究会が発足しました。このコミュニティの前身としては、HCGシンポジウムや人工知能学会でのコミック工学の特別セッションが行われてきましたし、MANPUという国際ワークショップも開催されました。これらの活動を継続するコミュニティのよりどころとしてこのコミック工学研究会が生まれました。

漫画家の先生にも関心を寄せていただき、クリエイターとの意見交換もとても刺激的なはずです。技術でもコンテンツでも漫画に興味のある人はぜひご参加ください。

コミック工学研究会 WEB ページ URL :  
<https://sig-cc.org>

=====

ヒューマンコミュニケーショングループ研究会・関連行事について、  
詳しくは HCG ホームページ <http://www.hcg-ieice.org/>をご覧ください。

-----

□■□  
電子情報通信学会 ヒューマンコミュニケーショングループ  
Copyright (c) 2019 IEICE, All Rights Reserved.  
□■□

-----

☆e-mailによる情報配信を必要としない方は、その旨 [henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) まで  
会員番号，氏名をご連絡ください。処理に1ヶ月程度かかりますので，入れ違  
いに，再度情報配信された場合は，ご容赦ください。  
(ご連絡いただいた場合は本会，登録ソサイエティ，グループ，支部，からの  
全ての情報配信が止まりますので，情報配信を再度希望される時も，その旨，  
[henkou@ieice.org](mailto:henkou@ieice.org) までご連絡下さい。)

ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice-ieice  
(社) 電子情報通信学会 サービス事業部  
TEL:03-3433-6691 FAX:03-3433-6659